



東尾社長（左）と小沢昌記市長が協定書にサインを交わしました

市は10月1日、イオンスーパーセンター（本社・盛岡市、東尾啓史社長）と「災害時における物資供給に関する協定」の調印式を行いました。これにより、災害時には市の要請を受けて、同社から食料品や日用品などの生活物資が供給されます。

東尾社長は「店舗の物資はもろろんのこと、全国のイオングループのインフラを使い供給する」と話し、小沢市長は「支援の力が大きくなることは市民にとって喜ばしいこと。双方にとって価値のある協定である」と連携を誓い合いました。

「災害時はイオンからも物資供給」



衣里地区センターの外観

市が整備を進めていた衣里地区センターが完成し、10月18日に同センター集会所で落成記念式典を行いました。式典には、工事関係者や地区住民など約60人が出席。完成を喜ぶとともに、地区活動拠点の新たなスタートに期待を膨らませました。

完成した施設は、景観を配慮した木造平屋建て床面積402・45平方メートル。式辞で小沢昌記市長は「地域づくりの活動拠点として大いに活用していただき、自治力向上と地域振興が図られることを祈念します」と述べました。

「地域活動の拠点が完成」



活発に意見交換が行われた江刺会場

市長と地域を語る会を、10月22日から11月6日まで、市役所本庁および各総合支所を会場に行いました。この会は、地域の代表と市の幹部が意見交換を通じて、地域の課題を解決していく場として、本年度より実施しているものです。

地区振興会の代表と市長の懇談では、29地区から報告された33項目の懇談テーマについて、課題の共有が図られました。報告された懇談テーマは、今後、庁内で組織するワーキンググループで検討を行い、27年2月をめどに解決方法を提案する予定です。

「地域と行政が地域課題解決のために」



現地生徒に箸の使い方を紹介

市は、国際姉妹都市であるオーストラリア共和国のロイテ、ブライテンヴァング両市へ公式訪問団を、10月6日から13日までの日程で派遣しました。

小沢昌記市長を団長とした訪問団には総勢14人が参加。現地では、市長による「震災復興と奥州市の現状」と題したプレゼンテーションや、3市長による市政懇談会が実施され、今後の姉妹都市交流について意見交換を行いました。また、現地の中高一貫校も訪問。箸の使い方や折り紙などの日本文化を紹介し、交流を深めました。

「国際姉妹都市で日本文化を紹介」

地域の窓

恵みの秋を迎え、10月から11月にかけて、各区で物産イベントが開催されました。地域の産業の紹介や物産販売を行うとともに、趣向を凝らした催しや体験コーナーも充実。その一部を紹介します。



水沢区

第49回水沢産業まつり

10月18、19日



1 併催の「奥州水沢グルメまつり」では6,000食の羊の子汁を振る舞い 2 恒例の物産展には多くの出店 3 水沢商業高校の生徒が「ござえんちやハウス」で販売体験 4 奥州牛や姉妹都市北海道長沼町の物産が当たるお楽しみ抽選会

前沢区

奥州前沢文化と産業まつり

10月25、26日



1 「建設機械体験試乗会」では緊張しながらも、思い通りに重機を操作 2 姉妹都市の「北海道厚真町物産コーナー」は、海産物やジンギスカンを買求める長蛇の列 3 子どもたちに人気の「ミニSL蒸気機関車」

江刺区

第29回江刺産業まつり

10月25、26日



1 にぎわいを見せる物産販売 2 好評の江刺りんご販売 3 飛距離を競うサンダル飛ばし大会 4 白熱する恒例の三輪車レース

衣川区

第13回衣川まるごと市場

10月25、26日



1 ステージではキッズダンサーが元気いっぱいダンスを披露 2 映画「リトル・フォレスト」の展示とジャックオーランタン作り体験 3 特産品の販売や多彩なイベントに多くの人が訪れました

胆沢区

いさわ商工秋まつり

11月1日

1 氷の冷たさもなんのその、両手いっぱい新鮮サンマ 2 子どもに大人気の「キャンディーつかみどり大会」には長蛇の列 3 バルーンアートのドラゴンをプレゼント

